



インタビューの
記録から

1日が終わってホッと
とした時が、その日
のことや子どものこと
が聞けるよいチャン
スだと思っています。
一人一人にその日の
労をねぎらいながら
情報収集やコミュニ
ケーションを図って
います。

言葉によるコミュニ
ケーションも大切で
すが、表情や動きの
様子から、一人一人
の心の様子を見取る
ことができるように
ならなくてはいいな
いと思ひ努力してい
ます。

管理職の考えや思い
を深く理解しておく
ことは大切であり、
それを自分なりに解
釈して先生方と話を
していきたいです。
そのためにも、管理
職との打合せや会話
は重要だと考えてい
ます。

高め合える職員集団にしたい

そこで

日々のコミュニケーションや、
報告・連絡・相談を密にしながら、
お互いに何でも言い合える関係を作り、
学校課題の改善に努めましょう。

たとえば

コミュニケーション

- ・授業が終わって先生方が職員室に戻ってくる4時頃、仕事を中断してでも、お茶のみに自ら出向く。
- ・先生方の普段の様子をよく見取り、顔色や表情から気になることがあれば、その都度声を掛けている。
- ・時々、職務上言いづらいことも言うが、その後は必ず言葉や行動でフォローする。

報・連・相+確認

- ・報告・連絡・相談の大切さは当たり前のように言われているが、それに「確認」も加えて確実に仕事を遂行している。
- ・校長、教頭との打合せを多く実施することで管理職の考えが深く理解でき、先生方には学校経営の視点から考えを伝えている。
- ・教頭先生の仕事と重なる部分が多いのでお互いに連絡・相談しながら仕事をしている。

評価・改善

- ・各分掌主任の企画立案、評価、改善案の作成に教務主任も関わり、助言する。
- ・行事の終了後すぐに反省を書いてもらい、分掌主任がとりまとめ。改善案を作成する時、教務主任が助言する。
- ・先生方との日常的な会話から、学校の課題となることを拾い、改善に向けて管理職に報告・相談する。



様々なかかわりを通して
高め合える人間関係を作る